

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
①学力の向上:家庭学習の充実を目指し、自主学習ノートやタブレット端末を活用した授業改善が進められたが、目標には届かなかった。学校運営協議会からは、基礎学力の低下や学力格差を懸念する意見があり、さらなる指導の充実が求められた。次年度は、協働的な学びの場の拡充と家庭学習習慣の定着を強化し、生徒の学力向上を図るとともに、学習意欲を高める支援を推進する。
②心の教育と地域とともにある学校づくり:道徳教育の充実や生徒指導部会の取組が評価され、心の教育の推進が進んだ。いじめ防止や自己肯定感の向上に向けた取組も一定の成果を上げることができ、さらなる未然防止策が必要と認められた。不登校対策は、家庭環境の影響も大きい。家庭との連携強化が必要と認められた。次年度は、相談しやすい体制に加え、保護者との協力体制を強化し、早期対応の体制を高める。
③不登校対策の拡充:不登校対策は、家庭環境の影響も大きい。家庭との連携強化が必要と認められた。次年度は、生徒の主体的な活動の場を確保し、自己有用感の向上を図るとともに、地域と連携した体験活動の充実を目指す。

2 学校教育目標 「心豊かに ともに 伸びる」

3 本年度の重点目標
① 学力の向上 ②心の教育の推進
③ 不登校対策の拡充 ④地域とともにある学校づくりの推進

4 重点取組内容・成果指標
(1) 共通評価項目

Table with 5 main columns: 評価項目, 重点取組 (教育目標), 具体的取組, 進捗状況と見通し, 達成度 (評価), 最終評価 (実施結果), 学校関係者評価 (評価), 意見や提言, 主な担当者. Rows include: ①学力の向上, ②心の教育, ③健康・体づくり, ④業務改善・教職員の働き方改革の推進, ⑤特別支援教育の充実.

(2) 本年度重点的に取り組む自主評価項目

Table with 5 main columns: 評価項目, 重点取組 (教育目標), 具体的取組, 進捗状況と見通し, 達成度 (評価), 最終評価 (実施結果), 学校関係者評価 (評価), 意見や提言, 主な担当者. Row: ①不登校対策の充実.

●・・・共通 ○・・・学校独自 ○・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望
① 学力の向上と授業改善の深化:主目的・対話的で深い学びを重視した授業改善が進み、生徒・保護者・教員の評価はそれぞれ高水準となり、学習活動の質的向上が見られた。今後は、これまで同様の層別授業における対話活動の充実や長期休業中での個別最適な学習(ICTを活用した基礎知識学習)を実施し、基礎学力の定着に学習意欲を高める支援を推進する。
②心の教育と地域とともにある学校づくりの充実:道徳・人権教育やいじめ防止の取組は定着し、生徒の思いやりや自己肯定感の向上につながっている。不登校対策については、早期対応の体制は整ってきていることから、次年度は未然防止の観点をより重視し、保護者との連携を通じて、安心の向上を図っていく。
③不登校対策と家庭・関係機関との連携強化:多様なスタッフの連携やアンケート・テストの活用により、早期把握・早期対応の体制は機能している。一方で、家庭との連携の重要性が引き続き認識されていることから、家庭との連携の充実や情報共有の工夫を通じて、家庭と協働した支援体制をさらに強化していく。
④地域とともにある学校づくりと生徒の自己有用感の向上:地域の連携や情報共有については一定の成果が見られ、生徒の主体的な活動の場を確保し、自己有用感や社会性を育み、地域とともに成長する学校づくりを推進していく。